



広報 常陸大宮

2016
7
No.142



那珂地区総合体育大会
優勝 明峰中学校バレー部

主な内容

- | | |
|--------|----------------|
| P2～3 | 平成27年度下半期の財政状況 |
| P4～5 | 木質バイオマス利活用事業 |
| P8 | 郷育立市宣言をしました |
| P10～16 | まちのできごと |
| P12～13 | いっしょにまちづくり特集 |

平成27年度下半期の 財政状況を お知らせします

概 要

平成27年度の当初予算は、一般会計が220億円、特別会計が141億4,990万円、企業会計の収益的収入で8億4,845万円、支出で7億3,312万1千円、資本的収入で4,935万7千円、支出で1億9,187万4千円でした。それに前年度からの繰り越し及び5回の補正の結果、予算額は平成28年3月31日現在で、それぞれ一般会計が252億6,586万4千円、特別会計が142億6,651万1千円、企業会計の収益的収入で8億4,845万円、支出で7億3,236万8千円、資本的収入で3,685万7千円、支出で1億8,535万円となっています。

特別会計の収支状況

区 分		予 算 額	収入済額	支出済額
国民健康保険 特 別 会 計	事 業 勘 定	59億3,018万4千円	53億2,020万1千円	53億6,641万6千円
	診療施設勘定	1億7,682万8千円	1億4,046万5千円	1億5,682万7千円
公共下水道事業特別会計		7億6,854万7千円	5億4,537万1千円	5億5,505万7千円
公 営 墓 地 特 別 会 計		4,140万円	8,885万7千円	2,537万9千円
農業集落排水事業特別会計		5億3,234万6千円	5億2,483万5千円	4億9,439万2千円
介護保険特別会計		50億105万8千円	47億6,852万2千円	42億9,681万1千円
簡易水道事業特別会計		8億201万9千円	7億7,722万5千円	7億3,455万4千円
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計		2,950万円	2,440万6千円	2,410万9千円
戸別浄化槽整備事業特別会計		4,548万3千円	4,411万8千円	4,325万8千円
温 泉 事 業 特 別 会 計		4億8,104万4千円	1億1,361万3千円	1億7,009万3千円
後期高齢者医療特別会計		4億5,810万2千円	4億5,743万4千円	4億2,498万2千円

上水道事業会計の状況（地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づく公表）

業務状況

給 水 人 口	25,382人
給 水 件 数	10,676件
有 収 水 量	2,923,463㎡/年
一日最大配水量	11,968㎡
一日平均配水量	9,874㎡
有 収 率	80.89%

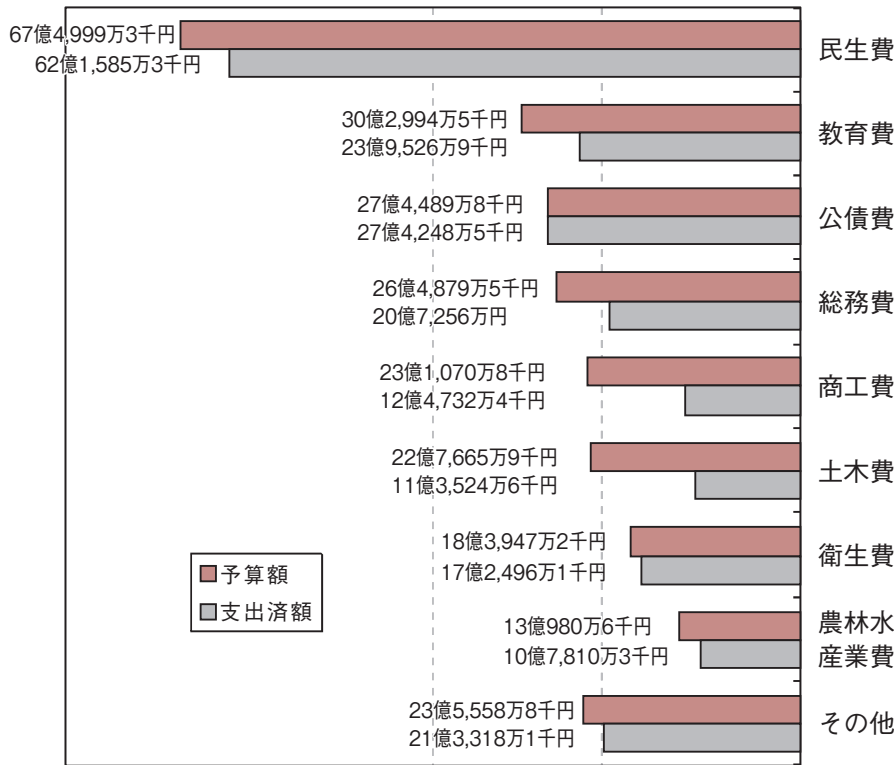
予算の収支状況

区 分		予算額	収支額	収支率
収益	収 入	8億4,845万円	8億6,435万1千円	101.9%
	支 出	7億3,536万8千円	6億9,888万1千円	95.0%
資本	収 入	5,185万7千円	2,278万5千円	43.9%
	支 出	2億1,982万円	1億5,106万6千円	68.7%

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億2,828万1千円は、当年度分消費税資本的収支調整額704万2千円、減債積立金3,000万円及び過年度分損益勘定留保資金9,123万9千円で補てんしました。

歳出 予 算 額 252億6,586万4千円 支出済額 207億4,498万2千円(執行率82.1%)

繰越分を含み、平成28年4月1日から平成28年5月31日までの出納整理期間の収入



主な財産の現在高



問い合わせ

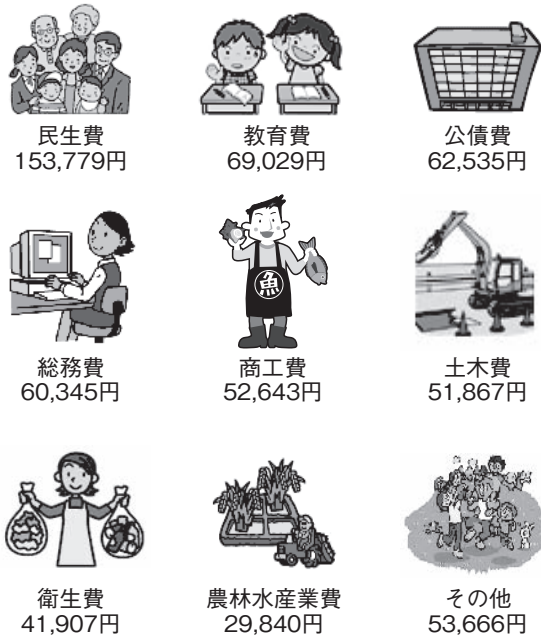
財政課 財政グループ
☎52-1111（内線375）

市債の状況

会計区分	現 在 高	実負担割合
一 般 会 計	(60億6,640万円) 260億7,016万円	23.3%
国保診療施設勘定	(3,734万円) 1億2,446万円	30.0%
公共下水道事業	(17億9,136万円) 31億13万円	57.8%
公 営 墓 地	(2億3,070万円) 2億3,070万円	100.0%
農業集落排水事業	(17億687万円) 34億3,059万円	49.8%
簡 易 水 道 事 業	(22億4,368万円) 32億3,811万円	69.3%
宅 地 造 成 事 業	(666万円) 2,221万円	30.0%
戸別浄化槽整備事業	(7,582万円) 1億4,968万円	50.7%
温 泉 事 業	(4,269万円) 1億4,230万円	30.0%
上 水 道 事 業	(8億7,439万円) 8億7,439万円	100.0%
合 計	(130億7,591万円) 373億8,273万円	35.0%

※現在高の上段（ ）内の金額は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

○一般会計予算における 一人当たりの額 575,611円



○市税総額における 一人当たりの額 103,157円

*上記の金額は、平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口43,894人で算出しています。



～じょうずに活用 して健康な森に～

常陸大宮市木質バイオマス利活用事業



本市は面積の約6割が森林で、森林資源が豊富です。山林には、間伐等により放置された未利用間伐材があり、これらの活用が課題となっていました。近年、この未利用間伐材は木質バイオマスという再生可能エネルギーの1つとして注目され、林業の活性化と温室効果ガス排出削減、森林の荒廃防止にも役立っています。本市では、この資源を有効利用する取り組みを進めていて、この事業によって化石燃料を削減し、地球温暖化防止と森林の整備に貢献します。

そしてこれらの未利用間伐材を活用するため、木質チップ燃料を製造し、市内温泉温浴施設である「ささの湯」、「三太の湯」、「四季彩館」へ木質バイオマスボイラーを導入し、重油の代わりにチップを使ってお風呂を沸かします。

現在は、「ささの湯」へ木質バイオマスボイラーを導入し、平成27年4月から稼働しています。

また、他2か所の温泉施設へ木質バイオマスボイラーの導入工事を実施しているところです。環境にやさしい、木質バイオマスエネルギーを利用したお風呂を、ぜひご利用ください。

＜木質チップの集積・製造から供給＞

1. 山林から木材を集積

除伐・間伐等で発生した林地残材を集積し、チップ製造施設へ搬出します。



▲林地残材を集積



2. 木質バイオマスチップ製造施設

集積した林地残材をチップに加工し、市内温泉温浴施設（ささの湯・三太の湯・四季彩館）に供給します。



▲チップ製造施設



▲チップ製造の様子



3. 木質バイオマスボイラー導入

市内温泉温浴施設（ささの湯・三太の湯・四季彩館）へ木質バイオマスボイラーを導入します。

木質チップを燃料とするバイオマスボイラーによりお湯を温めます。



ささの湯木質バイオマスボイラー棟



木質バイオマスボイラー

＜三太の湯＞

常陸大宮市諸沢5071 ☎ 57-4126
午前10時～午後9時まで
毎週水曜日休館（祝祭日の場合は翌日）
・大人（中学生以上）
平日710円 土日祝日 1,020円
・子ども（3歳以上小学生まで）
平日 360円 土日祝日 510円



三太の湯



四季彩館

＜こぜんやま温泉保養センター四季彩館＞

常陸大宮市長倉407-2 ☎ 55-2626
午前10時～午後9時まで
毎週木曜日休館（祝祭日の場合は翌日）
・大人（中学生以上）
平日710円 土日祝日 1,020円
・子ども（3歳以上小学生まで）
平日 360円 土日祝日 510円

木質バイオマスボイラー導入による効果

- CO₂排出量の削減による地球温暖化防止
- エネルギー経費の削減
- 化石燃料から非化石燃料エネルギーへの転換（エネルギー自給率の向上）
- 地域内における未利用バイオマス資源（間伐材等）の活用



破碎したチップ

■問い合わせ■ 農林課 農林畜産振興グループ ☎52-1111（内線203）

地域情報通信基盤整備推進交付金事業 について報告します

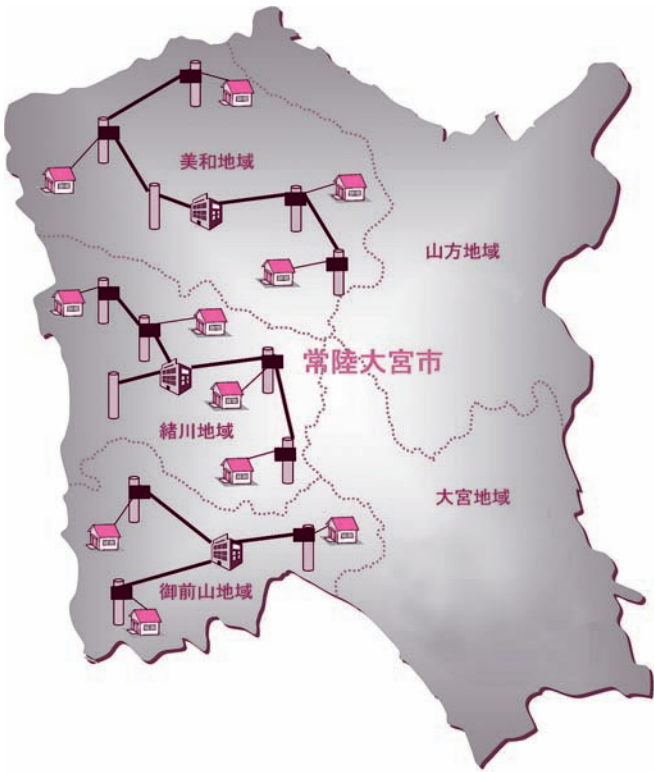
本市では、地域間の情報通信格差を是正し、市民の皆さんの生活利便性を高め地域経済の発展に資するべく、平成22年度に地域情報通信基盤整備推進交付金を活用し、光ファイバーによる情報通信網を整備しました。
この事業を実施してから5年が経過しましたので、完了後の状況についてお知らせします。

1. 事業名 地域情報化通信基盤整備推進交付金事業

2. 事業完了日 平成23年2月8日

3. 整備対象地域

美和地域	氷之沢・下檜沢・上檜沢・高部・小田野・鷺子
緒川地域	那賀・下小瀬・国長・小玉・上小瀬・大岩・小舟・油河内・松之草・小瀬沢・吉丸・入本郷・千田
御前山地域	野口・野口平・門井・下伊勢畑・上伊勢畑・檜山・長倉・野田・秋田・中居・金井



4. 総事業費 368,118千円

5. 交付金の額 122,321千円（地域情報化通信基盤交付金）

地域情報通信基盤整備推進交付金（ICT交付金）とは

地理的制約から、民間事業者による情報通信環境の整備が期待できず、情報格差が生ずる市町村またはその連携主体に対し、国が整備事業に必要な経費の一部を支援することによって、地域の知恵と工夫を活かしつつ効果的かつ効率的な情報通信基盤整備を行い、情報格差を是正し、利活用の促進を目指すことを目的とし、総務省が実施している事業です。

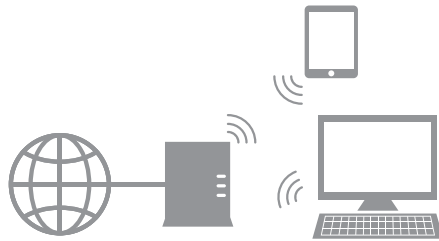
6. 事業の内容

本市においては、旧大宮町の一部でF T T Hサービス、全域でA D S Lサービスが提供されていました。しかし山間部など一部の地域では、伝送損失等の関係で十分な通信速度が出ない、またはサービスの利用ができない地域が存在し、平野部と山間部の情報格差や都市部との情報格差が広がりつつありました。地域住民や市内に事業所を持つ企業からも、インターネットが非常に遅い、大容量コンテンツの通信ができないなど多くの声が上がっていました。しかし電気通信事業者の採算性の観点から、光ファイバーの整備が進まないでいたため、市が光ファイバー網を整備することになりました。その後、すでに一部地域でサービスを開始している東日本電信電話株式会社へ、I R U契約により施設を貸し出して、当該地区での光インターネットサービスを開始し、住民の要望に沿ったサービスの展開を行いました。

7. サービス開始日 平成23年2月15日

8. サービス形態 公設民営（I R U）

9. 契約先 東日本電信電話株式会社



10. 整備計画時の目標

	初年度	最終
整備地域の世帯数	4,395	4,395
加入世帯数	440	4,395
加入率（%）	10%	100%



11. 加入実績

	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
整備地域の世帯数	4,019	3,967	3,946	3,919	3,922
加入世帯数	1,056	1,315	1,488	1,607	1,766
加入率（%）	26.3%	33.1%	37.7%	41.0%	45.0%

12. 評価及び課題

当初計画では、初年度中（平成23年3月末）に440世帯（加入率10%）、3年以内（平成26年1月末）に880世帯（加入率20%）を目標としていましたが、実績では初年度に476世帯（加入率11.9%）、5年目では1,766世帯（加入率45.0%）でした。5年経過後の現在でもおおむね順調に増加傾向にあります。一方で、近年の移動通信網の整備やライフスタイルの変化、住民の高齢化、スマートフォンの普及等により、劇的な加入数の増加は難しいことが予想されます。安定した通信環境である光インターネットサービスの更なる利用促進を図るため、積極的に広報等に努めていきます。

■問い合わせ■ 総務課 情報・統計グループ ☎52-1111（内線317）



きょういく りっ し

常陸大宮市は、郷育立市宣言をしました！

市では、平成28年3月22日に「郷育立市宣言」を制定しました。

この宣言は、郷育の根幹である教育に加え、それ以外の分野においても独自の役割の中で、郷土愛を育み、家庭・学校・地域・行政の強い連携のもと、市民が一体となって、郷土でも輝きをもって新しい時代を生き抜くことができる人材を育て、ひいてはまちづくりにつなげていくことを、広く表明するためのものです。

この宣言が掲げる理想的なまちの姿を目指し、市民の皆さんとともに取り組んでいきます。



きょういく りっ し

郷育立市宣言

こどもたちは、未来の幸せを担うため、この地で育っています
歴史や文化に満たされた常陸大宮市すべてが、その学び舎です
そして、この「人づくり」への思いが、
この地の豊かさと誇りを支える原点です

私たちは、過去から学び、今の幸せを担うため、この地で暮らしています
豊かな自然や助け合う地域を支える常陸大宮市すべてが、その舞台です
だから、「人づくり」は「まちづくり」にほかなりません

故郷を愛し、故郷を慈しんだ先人たちの力が、常陸大宮市を作り続けてきました
今、私たちは確かにその足跡を想い、次の一步を歩み続けています
その心と行動は、必ず、次の世代に伝えなければなりません

自然や歴史をつなぎ、誇れるものやかけがえのないものをつないで、
人は生きてきました
このつながりを大切にし、故郷を愛し、慈しむ郷育を進めることで、
故郷を離れて輝くばかりでなく、故郷にあっても輝くことができるのです
そして、この輝きこそが、「誇り高いまち」常陸大宮市を築き上げるのです

これらを強く願い、常陸大宮市は、ここに「郷育立市」を宣言します

■問い合わせ■ 企画政策課 企画政策グループ ☎52-1111（内線309）



いづみもゆく

～泉坂下遺跡第3次確認調査成果～

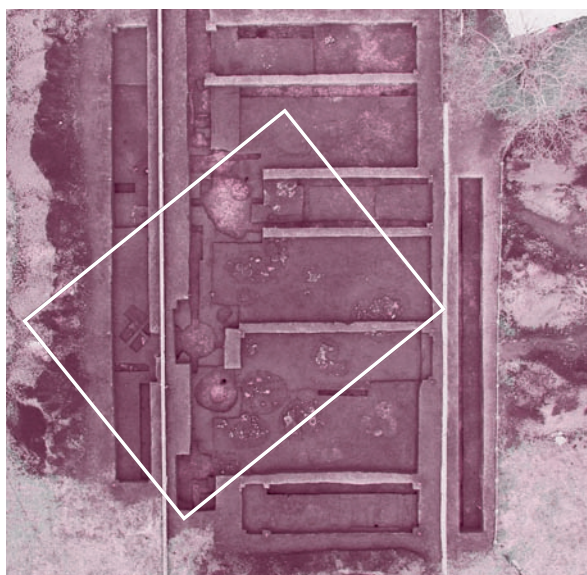
平成26年9月から11月にかけて、泉坂下遺跡第3次確認調査が行われ、その成果がまとまりましたのでお知らせします。

泉坂下遺跡は、弥生時代（約2200年前）の再葬墓^{さいそうぼ}として知られ、平成18年の調査で、国内最大の人面付土器が発見されたことで全国的に有名になりました。市教育委員会では、遺跡の範囲確認などを目的とした発掘調査を平成24年度から進めていて、平成26年度は第3次調査となります。

※再葬墓…死者を一旦埋葬するなどして骨にした後取り出し、その骨を再び埋葬する墓制で、弥生時代の東日本で行われていたもの。



▲泉坂下遺跡全景



第3次調査では、再葬墓の集中する部分を広げて、分布状況を確認しました。その結果、人面付土器の出た再葬墓を南端として、長辺約13m、短辺約10mのおおよそ長方形の範囲に再葬墓は集中して造られていることが判りました。

一方、この長方形の範囲に含まれない小規模な再葬墓も確認されていて、これは今後の課題となりました。

また一つの再葬墓を掘り込んで調査する取り組みも行われていて、南方向に向けて土器を倒して、丁寧に並べられている様子も観察できました。

◀再葬墓の分布の様子

なお、この調査成果をまとめた報告書『泉坂下遺跡Ⅳ』は、歴史民俗資料館大宮館で、1部2,410円で販売しています。在庫わずかとなっていますので、お早めにお求めください。

発掘調査の成果は、私たちのふるさと常陸大宮市の成り立ちを知るための貴重な資料となります。ふるさとの歴史と文化を知り郷土愛を育むため、今後ともご理解とご協力をお願いします。



▲調査した再葬墓

■問い合わせ■ 生涯学習課 歴史文化振興室 ☎52-1450

6/11 植物を学ぶ・楽しむ・味わう

おがわふれあいの森で、17人が参加して「身近な自然観察会」が開催されました。これは、映画「植・物・図・鑑」のコラボ企画で、県と県内の環境関連団体が主催し、様々な植物を観察することで、身近な自然を知ってもらおうという企画です。

この日は、緒川薬草研究会（守田礼子会長）の協力で、おがわふれあいの森内約3kmを歩きながら、植物の名前やその特性、食べられる野草や食べられない野草の見分け方などについて説明を聞きました。

また実っていたグミや野イチゴなどを食べ、甘みやえぐみ、渋みなどの味に、子どもたちからは「甘い！でも渋い！」などの声が上がっていました。研究会からも「季節によって違った景色を楽しむことができるので、また歩いて四季折々の自然を肌で感じてほしい」との話がありました。



▲天気に恵まれ、気持ちの良い汗をかきました

7/3 ごみのない清潔なまちづくり

市内道路・河川の一斉クリーン作戦を実施しました。ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長を中心に、地域住民や市内中学校、市ライオンズクラブ、市建設業協会、郵便局、筑波銀行など約10,300人が空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

この日は、可燃ごみ2,450kg、不燃ごみ1,390kg、その他粗大ごみが回収されました。参加された皆さん、ありがとうございました。



6/14 地域の活性化に向けて

美和地域の有志「森と地域の調和を考える会」（龍崎眞一代表）が、地域活性化の一環として取り組んできた「中世城郭高部館」の整備活動が評価されて、公益財団法人東日本鉄道文化財団の支援が決まり、事業承認書の贈呈式が行われました。

この支援は、東日本鉄道文化財団が、JR東日本管内にある貴重な文化財や自然等を保全・保存・継承する民間事業の中から選定して行われたものです。

会員の努力で下草が刈られ、城郭の遺構が明確になり、調査研究の進んだ高部館跡は、今回の支援で見学経路や看板の設置、見学者の安全対策が施される予定です。

JR関係者は、贈呈式終了後、高部館跡を望む高部の町並みを視察。喜雨亭での抹茶の接待や庭園の見事さに、市内山間部の都ぶりを実感し、事業のさらなる展開を期待すると話していました。



▲贈呈式のあとの記念撮影

6/23 パラオ共和国へ眼鏡を寄贈

パラオ共和国へ寄贈する眼鏡の提供をお願いしたところ、市民の皆さんや市職員から153個もの提供があり、水戸市の小沢眼科内科医院へ届けました。

同医院では、パシフィック・パートナーシップ2016事業での医療支援活動を、7月29日から8月15日までパラオ共和国で行います。その活動をおして現地で視力に悩む方々に、皆さんから頂いた眼鏡が提供される予定です。



▲小沢院長に直接手渡しました

6/12

身近な水環境を観察

富岡橋の河川敷で、25人が参加して久慈川の水质・水生生物調査が行われました。これは、どんな水生生物が生息しているのか調査することによって、河川の水質を総合的に評価し、環境問題への関心を高めるため、全国的に実施されています。

はじめに、参加者が川に入り水生生物を採取したところ、カワゲラやカゲロウの幼虫、ドジョウなどが生息していることが分かりました。そのあと、川の水温やCOD*（化学的酸素要求量）を調査。県環境アドバイザーの中村恵美子さんは、「久慈川はカゲロウなどが生息していて自然豊かな川です」と話していました。

※CODとは水中の酸素を消費してしまう物質がどれだけ入っているかの調査値で、川を汚す原因になる家庭等からの雑排水の量が多いと高くなります。



▲中村さんの説明に聞き入る参加者たち

6/25

外国料理で異文化交流

美和山村開発センターで「外国料理で異文化交流 in 美和」（主催：市国際交流協会）が開催されました。

今回のメニューは、インドネシアのオポーアヤム（鶏肉のソテー）、ピサンゴレン（揚げたバナナ）、プエルトリコのソパデポロ（チキンスープ）とエンバナータ（具が入ったパン）です。それぞれ講師を招いて、市内からの応募者、海外出身者、協会会員の総勢66人で各国の家庭料理を作りました。

その後は、お茶会で抹茶が振舞われ、参加者からは「次回も機会があれば参加したい」、「海外出身者とおいしい料理を堪能できてよかった」などの声があり、交流を深めた1日となりました。



▲真剣な表情で取り組む参加者



▲最後は参加者全員で記念撮影

6/7~
21

第2回市議会定例会

平成28年第2回常陸大宮市議会定例会が、6月7日から6月21日まで開会されました。この定例会では次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決、承認及び同意されました。

条 例

- 常陸大宮市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市下小川キャンプ場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

平成28年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算

専決処分の承認

- 常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

その他

- 工事請負契約の締結について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の変更について
- 監査委員の選任について
自見 友一
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
佐野 絢子
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
諸澤 好一郎、高村 重彦



茨城大学教授/常陸大宮市創生特別顧問 西野由希子

常陸大宮市と茨城大学が地域連携の協定を結んだのが2005年4月。それ以来、常陸大宮市内の様々な「まちづくり」の活動に、大学が協力・参加させていただくようになり、「まちづくり」に取り組む市民の皆さまとの出会いが広がっていきました。学生たちも熱心に取り組んでいましたので、そういう様子を知っていただけたらと思いますし、活動されている市民の皆さまが登場するコーナーがあると良いのではと考え、企画や広報の担当の皆さんに相談して2008年の10月号からスタートさせたのが「いっしょにまちづくり」のコーナーです。

学生たちは、本市での活動の際に「市報を見たよ」「載ってたね」と声をかけていただくようになり、それが大きな励みし、後押しになりました。また執筆や掲載が良い契機になり、それぞれのステップへ繋がったと思います。2010年からは「常陸大宮市まちづくりネットワーク」も動き始め、その後「協働のまちづくり指針」も策定され、本市のまちづくりはさらに活発に進められようとしています。今後もまちづくりに取り組む皆さんの笑顔が、このコーナーで繋がり、広がっていきますように願っています。



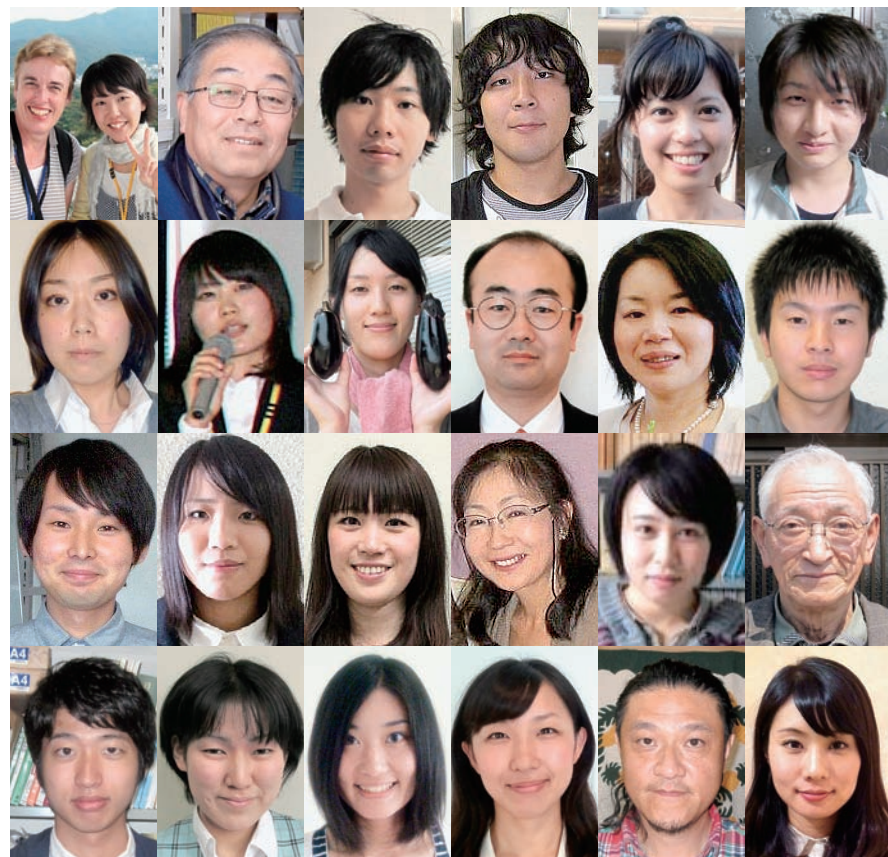
※1回目は2008年10月号に掲載

「まちづくりの経験を自らの仕事に」

笠間市役所 都市計画課 小室 仁子

以前掲載された時は、まだ大学生として実際のまちづくりを現場で経験しながら、地域の魅力を伝える方法を研究していました。

現在は笠間市の職員として、空き家対策や利活用の推進に従事し、学生時代の経験を活かしながら、移住者の受け入れ先として空き家を紹介する支援等を行っています。「いっしょにまちづくり」が8年もの間継続されたことは、それだけ多くの方が常陸大宮市のまちづくりに関わった証だと思いますし、地域を盛り上げようとする人が多くいるまちであることを、元市民として誇りに思います。



「いっしょにまちづくり」
コーナーが始まって8年になりました！

執筆者は、まちづくりに取り組んでいる市民のみなさん、地域連携でいっしょに活動している茨城大学の学生・教員のみなさん、併せて90人以上になりました。これからも、笑顔とまちづくりの輪をつないでいきます！

※1回目は2011年6月号に掲載



「深化するいっしょにまちづくり」

フロイデDAN 団長 寺門 貴

いっしょにまちづくりも8年目を迎え、多くの市民や団体の協力により、横断的な活動も増えている印象を受けます。そのような活動の末端で、私たち「フロイデDAN」の活動も6年目に突入しました。

その間、様々な人や団体の皆さまと共に活動することでネットワークの広がりを感ずることができました。少子高齢社会において、誰もが排除されないまちを実現するために、対話を通して活動していきたいと思っています。

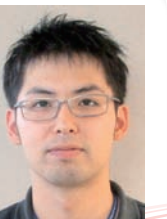


※1回目は2010年5月号に掲載

「自分を成長させてくれたまちづくり」

常陸大宮市役所 税務徴収課 野上 敦司

学生として常陸大宮市まちづくり活動に携わってから6年が経過しました。学生として活動した際に実感した、何も分からない「よそ者」の自分たちを優しく迎え入れてくれた「地域の温かさ」が、常陸大宮市の職員として日々職務に励む上での私の道標です。今後は職員として、また一人の市民として自分が魅力に感じた地域のまちづくりに携わっていきたいと思っています。



6/2~

ヨガで心も身体も健康に

浅野佑介先生を講師に迎え、ヨガ体験教室（主催：生涯学習課）を開催しました。浅野先生は本市出身で、NHK水戸放送局「いばっチャオ！」で、月1回のヨガコーナーの講師も務めています。

ヨガは、独特のゆっくりした動きと呼吸が、柔軟性向上や血行促進、体幹の強化等に効果をもたらします。この日参加した皆さんは、浅野先生の優しく的確な指導で、普段使わない筋肉を伸ばし、リラックスして最後まで楽しめたようです。また、腰痛がきっかけでヨガを始めたという浅野先生は、結果にこだわらず自分のできる範囲で頑張る過程が大切と話しました。

このヨガ教室は、9月～11月（全7回）に昼の部と夜の部の2回開催します。詳しくは、広報常陸大宮お知らせ版7月25日号（No.330）等でお知らせしていますので、ぜひご参加ください。



5/17

柔よく剛を制す

西部総合公園体育館で、レディス&シニア対象の合気道教室（主催：市体育協会、市合気道連盟）が開催されました。

合気道は相手の力を合理的に使うことを基本とし、無理な動きや腕力を必要としません。そのため、子どもからお年寄りまで誰でも無理なく稽古することができ、女性の割合が多いのも特長です。

今回は初心者向けの体験教室で、準備運動を十分にした後、基本動作や受け身、投げ技等練習し、合気道に親しむことができました。参加者から「楽しくできてよかった」という声がありました。



▲基本動作の指導を受けました

6/21

美和幼稚園にホーリー君登場！

水戸ホーリーホックアカデミーが実施しているスポーツ体験教室が、美和幼稚園で開催されました。

この日は、アカデミーコーチとマスコットキャラクターのホーリー君が登場。1時間にわたり、コーチからボールのけり方などの指導を受け、真剣な表情ながらも楽しくサッカーに取り組みました。最後はホーリーくんとハイタッチして記念撮影。とても満足そうな園児たちでした。

次回は10月6日に実施する予定です。



▲サッカーの後はホーリー君とハイタッチ

スポーツ大会結果

第12回市長杯野球大会

開催日：6月5、12、19日
主催：市軟式野球連盟（塩澤寛会長）
会場：大宮運動公園市民球場 他3会場
参加チーム：23チーム

優勝 CLUBウイングス
準優勝 ジャンキー丸英
第3位 石澤クラブ、INSTANT
最優秀選手賞 若杉 良平（CLUBウイングス）
優秀選手賞 坂東 克紀（CLUBウイングス）
敢闘賞 武石 惇伎（ジャンキー丸英）



▲優勝したCLUBウイングスの皆さん

第18回ミックスバレーボール大会

開催日：6月5日
主催：市バレーボール連盟（青木秀雄会長）
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：14チーム

優勝 グルービー 準優勝 JBクラブ
第3位 ドリームズ、ソレイユ
最優秀選手賞 富山 紗希（グルービー）
優秀選手賞 中島 優香（グルービー）
生天目志信（JBクラブ）、矢板永理（ドリームズ）
小口沙耶香（ソレイユ）



▲優勝したグルービーの皆さん

第16回常陸大宮市民バドミントン大会

開催日：6月19日 主催：市バドミントン連盟（助川光一会長）
会場：西部総合公園体育館

【男子ダブルスAクラス】

優勝 加藤木貴之・清水 桂太
準優勝 安斎 圭・岡崎 奎人
第3位 鈴木 真吾・中村 辰徳

【ミックスダブルスクラス】

優勝 北見 佳久・佐々木弘美
準優勝 道上 紗月・小野 陽
第3位 江原 玲子・菊池 紀幸

【初心者ダブルスクラス】

優勝 小林 光雄・助川 聖人
準優勝 長沼 誠二・宮本 裕一
第3位 舟木 春香・阿部 貴子

【男子ダブルスBクラス】

優勝 安藤 颯・小森 健太
準優勝 新妻 克悦・荒川 裕之
第3位 益子 健太・矢田部好祝





スナッグゴルフ全国大会出場決定!!

おめでとう! 大宮小学校チーム!



6月12日、涼しく絶好のスポーツ日和の中、スナッグゴルフ対抗戦茨城B地区予選会（主催：日本ゴルフツアー機構）が、静ヒルズカントリークラブで開催されました。この予選会は、参加希望があった市内小学校からそれぞれ選抜・構成されたチームの中から上位3人の合計スコアで争う対抗戦で、日頃の練習の成果

を発揮した素晴らしいプレーが披露されました。

この大会で優勝した大宮小学校チームは、7月17日に福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催された、第14回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会へ出場し、参加28チーム中、11位の成績を収めました。

《予選会結果》

【茨城B地区予選会成績507ヤード／パー 36】

●団体の部

優勝	大宮小学校	86ストローク
2位	大宮北小学校	102ストローク
3位	山方小学校	106ストローク
4位	山方南小学校	114ストローク

●個人の部

・ベストグロス賞

見代 美咲（大宮小学校） 26ストローク

・アルパトロス賞

小室 咲貴（大宮小学校）



▲選手宣誓



▲優勝した大宮小学校表彰



▲参加者全員で記念写真撮影

出場者インタビュー

大宮小6年
坂井 花凜



今年は練習を早めに始め、予選会に出場しました。今年も全国大会に出たいという気持ちはみんな一緒でした。練習してきた結果が出て、見事優勝することができました。みんな真剣に頑張っていて、すごく良いプレーができたと思います。この予選会に勝ったことで、全国大会に行けることになりみんな大喜びでした。

山方南小5年
岡崎 祐花



始めたばかりの頃は思うようにボールを打てませんでした。でも友達と一緒に練習するうちに少しずつ当たるようになりました。大会当日は朝から緊張していたけれどだんだん緊張がほぐれ、ボールも飛ぶようになってすごく楽しくなってきました。成績も、練習の時より良いスコアでプレーすることができたので、嬉しかったです。

大宮小北5年
梶 由依



私は6月12日に行なわれたスナッグゴルフB地区予選会に出場しました。メンバーは他の学校の人達で緊張しましたが、楽しくコースを回る事ができたので良かったです。結果は2位で残念でしたが、来年出る時は今年よりもスコアを上げて優勝目指して頑張りたいと思います。

山方小5年
中島 一哉



僕は山方小学校の代表として優勝目指して頑張りましたが、3位という成績に終わりました。練習量が足りなかったことが原因なので、来年はもっと練習をして参加したいと思います。また来年は自分が6年生になり、今の6年生が抜けてメンバーが2人になってしまうので、5年生をもっと誘って優勝を目指したいです。

地域おこし協力隊

No.3

がゆく

諸沢地区の活性化に取り組んでいる、地域おこし協力隊の志賀です。

6月19日に、諸沢あやめ園育成会が主催する「諸沢あやめまつり」が開かれました。近年のあやめは花つきが悪く、お祭りをする事ができませんでした。今年は見事に咲き誇りました。実に4年ぶりの開催です。お祭り当日は、肉うどんやあやめ団子などのお振る舞いを用意して、お客様をお出迎え。驚いたのは、これらのお振る舞いすべてが無料で提供されているということです。



▲ お振る舞いの準備をしながらも皆さん楽しそう



▲ あやめの手入れをする会員の皆さん

「丹精込めて育てたあやめを自分たちで楽しむだけでなく、たくさんの人に見てもらいたい」「せっかく来てもらうのなら何かお振る舞いしよう！」

私がお祭りのお手伝いを通して感じたことは、諸沢あやめ園育成会の皆さんの温かなおもてなしの心でした。

これからも諸沢地区の方々との繋がりから人の温かみを感じ、地域の活性化につなげていきたいと思っています。

VOL.25

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

今年4月に採用され、税務徴収課徴収推進室に配属された浅川聡史です。現在の主な業務は、未納となっている税金の徴収や納付に関する問い合わせ、納税相談などです。市民の生活を支えている税金に携わっているという責任を自覚し、日々仕事に取り組んでいます。

配属され3か月経ちますが、まだまだ不慣れなことが多く、周囲の先輩方に支えられて業務を覚える毎日です。

7月になり、これから本格的な夏を迎え、海やお祭りなど気が緩んでしまう季節ですが、気合を入れ直し1日も早く市民の皆さんのお役に立てるように努めていきたいと思っています。

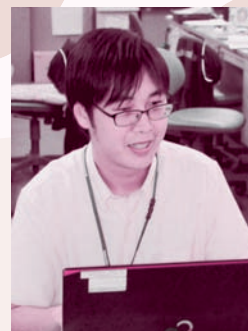


▲税務徴収課 浅川聡史

今年度より採用となりました、税務徴収課の古徳です。私は5年間常陸大宮市を離れていたもので、再びこの地で暮らせることの喜びを、日々噛みしめています。

入職してから最初の夏をこれから迎えようとしていますが、担当業務や窓口での対応など様々な業務を覚えていくうちに、今の自分に足りないものやもっと磨いていきたい部分が少しずつ見えてきたように感じています。

まだまだ覚える事だらけですが、ひとつひとつをしっかりと学習し、早く市民の皆さんの役に立てる職員になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。



▲税務徴収課 古徳祥明



いよっ、まってました！

西塩子の回り舞台 その2

～ボランティア始動～

6月18日、大宮公民館塩田分館でボランティアに向けた説明会が開催されました。説明会に参加したのは、市まちづくりネットワークや市国際交流協会の皆さん、茨城大学の学生など約50人です。

初参加となる大学生には、説明会の前に分館グラウンドで、舞台を立てる場所や大きさ、保管している木材を示して舞台のイメージを膨らませてもらいました。



<協賛金のお願い>

3年ぶりに開催される西塩子の回り舞台では、舞台組立てや公演に活用される協賛金を募集しています。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

- ・募集期間 9月30日(金)まで
- ・募集金額 一口1,000円
- ・問い合わせ、申し込み

西塩子の回り舞台保存会事務局
☎090-7811-5122 (会長：大貫)
✉sp454pa9@image.ocn.ne.jp

説明会では、映像を使って「西塩子の回り舞台」の歴史や、復活までの経緯、現在行われている組立て作業の様子について解説。参加者からは、積極的に質問や意見が寄せられ、保存会では大きな手応えを感じたようです。

説明によると、今年の舞台組立て開始は8月27日(土)。地鎮祭を行い作業中の安全祈願をした後、組立て班と竹切り班に分かれて作業を開始するとのこと。舞台のもうひとつの見所である組立て作業に、ボランティアで参加するもよし、見学するもよし。

半世紀ぶりに舞台を組立てた平成9年から、今年で足掛け20年。当時40歳代だった中心メンバーは60歳台半ば、西塩子地区の世帯数も70から60へと減少しています。組立てだけでなく、衣裳や舞台道具作り、情報発信などなど、ボランティアの内容は様々。皆でモノを作り上げる醍醐味を味わいませんか？参加希望の方は、下記にご連絡下さい。

■問い合わせ■ 生涯学習課 歴史文化振興室 ☎52-1450

西塩子の回り舞台保存会

☎52-3518 H P <http://mawari-butai.jpn.org/>

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭を楽しもう！

<作品鑑賞パスポート>

会期中、茨城県北芸術祭の作品を鑑賞できるおトクなチケット。茨城県北全地域の約100の芸術作品を楽しむことができます。

【販売価格】

一般：2,500円（前売り2,000円）

学生・65歳以上：1,500円（前売り1,000円）

中学生以下・障害者手帳などを持参の方：無料

*会期中、インフォメーションセンターなどで販売

*前売り引換券は全国のコンビニなどで販売中

<公式ガイドブック>

茨城県北芸術祭の見どころや、各市町に展開される芸術作品のガイドはもちろん、飲食店情報や現地までのアクセス情報、宿泊情報など、茨城県北芸術祭を巡るための必携アイテム「公式ガイドブック」を8月下旬から全国の書店で販売！

ぜひお買い求めください。

【販売予価】1,300円 価格は税込

【出版】生活の友社

Meets KENPOKU

物々交換プロジェクト

at KENPOKU **常陸大宮市**

アーティスト柚木恵介が自作の屋台を引いて茨城県北に登場！！屋台の上に、ただいま交換できるモノが一品置いてあります。それはこれまで7年間国内外各地で交換に交換を重ねてきた歴史の「最後の一品」です。この一品と物々交換してくれる方を探し歩き、また新しく歴史を更新していきます。ナマモノ、匂いのするモノ、他の方の迷惑になるモノ以外であれば、なんでも交換OKです。皆様が今持っている何かが次に交換できるモノとなり、それがまた誰かの手に渡り——。こうして人とモノの連鎖を記録していくのがこのプロジェクトの概要です。7月から約2ヶ月間、屋台を引きながら県北6市町を移動し続けます。道端で声をかけたり、時にはお宅へ突撃訪問をするかもしれません。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

8月19日(金)

三太の湯

雨天決行(荒天時には中止の場合があります)

8月20日(土)

清流公園(あゆの里まつり)・美和地区(美和ふるさと祭)

8月21日(日)

道の駅常陸大宮かわプラザ

8月22日(月)

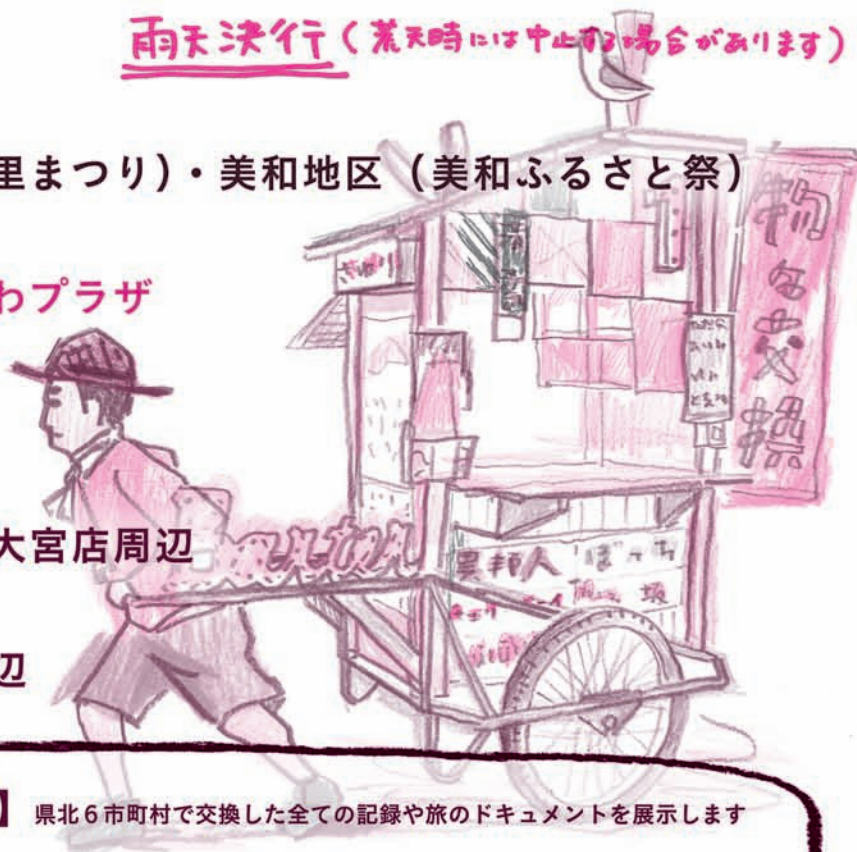
美和地区

8月23日(火)

ワンダーグー常陸大宮店周辺

8月24日(水)

舟納豆(店舗)周辺



【展覧会概要】 県北6市町村で交換した全ての記録や旅のドキュメントを展示します

○期間：平成28年9月17日(土)～11月20日(日)

○会場：旧北茨城市立富士ヶ丘小学校(茨城県北茨城市関本町富士ヶ丘756-1)

スケジュールは変更になることがあります。詳しい最新情報は作家ホームページ、twitterでご連絡します。

Web <http://yunokikeisuke.com> Twitter <https://twitter.com/yunokikeisuke>

主催：茨城県北芸術祭実行委員会 www.kenpoku-art.jp

お問い合わせ：茨城県北芸術祭実行委員会東京事務局 TEL 03-5545-3627(平日10:00～17:00)

KENPOKU

ART 2016 茨城県北芸術祭

健康寿命と骨粗鬆症

今年の広報常陸大宮2月号に、「健康寿命とは」というコラムがありました。その健康寿命の次にやってくるのは、障害の期間「寝たきり」となります。寝たきりの原因は、男性ではいわゆる脳卒中（脳血管障害）が第1位ですが、女性では大腿骨近位部骨折となっています。そしてこの骨折の背景として骨粗鬆症があります。



日本の骨粗鬆症の人数は1,280万人といわれていますが、実際に治療を受けているのは3割程度と考えられています。骨粗鬆症は、腰痛等痛みの原因と思われがちですが、正確には骨折するまで症状がありません。これは糖尿病と似ています。

骨粗鬆症も糖尿病も合併症を起こすまでは、検査を受けなければ診断をつけることができません。骨粗鬆症では、やっかいなことに脊椎圧迫骨折（背骨の骨折）を起こしても、3分の2の症例でそれほど大きな痛みがないことが判っています。

テレビのコマーシャルで、「いつのまにか骨折」という言葉を耳にしたことがあるかもしれません。身の回りに、だんだん腰が曲がって身長が縮んだという方がいませんか？現在、骨粗鬆症は治療を行えば骨折を防ぐことが可能になってきています。そのためには、まず骨粗鬆症の検査（背骨のX-P検査や骨密度測定）を受けることが重要です。

女性は閉経後に女性ホルモンが減少します。これが骨粗鬆症の主な原因です。閉経を迎えた、最近身長が縮んだ、背中が曲がっていると指摘された、母親が骨粗鬆症あるいは骨折している、タバコを吸う、ステロイドを服用している等、合致する項目がある方はぜひ骨粗鬆症検査を受けましょう。もし骨粗鬆症と診断され、薬が処方された場合はきちんと継続することが重要です。骨の強度はすぐには改善しません。寝たきりにならないため、まず節目検診の骨密度測定を受けてみましょう。



常陸大宮済生会病院
自治医科大学 特任准教授
杉本 直哉 先生

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中！

【広報紙】半枠(45mm×85mm)、全枠(45mm×175mm)
【ホームページ】バナー広告

* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁秘書広聴課(☎52-1111 内線307、312)までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

～明治の合併後の諸富野村～

◇明治の大合併

明治22（1889）年の市制町村制の施行により、江戸時代以来の村々は、人口300～500人の規模への合併が進められました。これにより、常陸大宮市域に80以上あった村々も統合されて18か村になりました。今回は諸富野村の明治の合併についてご紹介します。

諸富野村は久慈郡に属し、明治22年4月1日、諸沢村、北富田村（天保13年に田野村と富根村・盛金村の一部が合村）、西野内村（以上すべて現在の山方地域）の3か村が合併して誕生しました。「諸富野村」という村名は各旧村から一文字ずつ取って付けられました。

諸富野村域は市の北西部、男体山系に連なる山間に位置し、北部には籠岩の奇岩、東には金砂山（常陸太田市上宮河内町）があり、その間には明山があります。諸沢川と彦沢川が久慈川に向かって流れ、集落はその谷沿いに形成されてきました。

明治の合併前、明治5（1872）年に制定された大区小区制では、はじめ諸沢村と北富田村が第十二大区一小区、西野内村は第十三大区四小区とされました。明治8年以後は、3か村は同じ第四大区四小区に属しました。

明治11年には、旧来の郡町村の復活を盛り込んだ郡区町村編成法が制定され、さらに行政効率を高めるために数か村単位で行政を担う「連合村」が設定されました。これをうけて諸沢村と北富田村は2か村連合となり、西野内村は照山村、小貫村とともに3か村連合となりました。続く明治17年には改定され、更に大きな連合村へと改められましたが、諸沢村と北富田村は同じく2か村連合のまま、西野内村は小貫村、照山村と世喜地区の村々との7か村連合に改められました。

その後、明治22年の合併では、7か村連合に属していた西野内村が諸沢村、北富田村と3か村で合併することになりました。「古来三村は地理的にも、交通上も密接な関係にあり、その合併は自然であった」（『山方町誌下巻』）といわれる合併でしたが、その経緯は明らかではありません。

合併すると、初代村長には木村小八郎が就任し、諸沢字田中37番地（現在の公民館諸富野分館の東か）に役場が置かれました。その後、大正2年に字中平4445番地（現在の鏡泉院の南か）に移り、改築されました。

◇大正期以後の諸富野村

諸富野村には大正9年から昭和18年まで、計8冊の事蹟簿が残されています。



▲諸富野村事蹟簿（当館蔵）

事蹟簿は「模範的町村自治」を作り出すため、明治38年7月26日付の茨城県訓令により作成が義務付けられた村ごとの台帳です。内容は、村の沿革、土地、戸口、農林水産業、鉱工業、教育、兵事、社寺、議会など多岐にわたりました。明治後半から戦中期にかけて残されている例が多いようですが、その残り方は村によってまちまちです。

諸富野村事蹟簿によれば、大正9年の常住人口は2,982人、昭和4年は3,235人、同17年は3,315人でした〔この地域の平成25年の人口は982人（茨城県企画部「茨城県の人口（町丁字別）」平成25年）〕。

大正9年の事蹟簿には豪雨と洪水被害について記録されています。同年10月1日、茨城県北部から栃木県東部にかけて大雨とそれに伴う河川の氾濫が起り、久慈川、那珂川をはじめ緒川などの支流でも被害が出ました。この日が第1回の国勢調査当日であったため「国勢調査の大水」と呼ばれました。これにより、諸富野村域では西野内地区において死者1名を出し、家屋の被害も「全潰」19戸、「半潰」26戸、「浸水」60余戸に及びました。

【参考文献】

塙泉嶺『久慈郡郷土史総論』宗教新聞社 大正13年、河野宏「常陸大宮市内における明治期の町村統廃合」『大宮郷土研究』9 平成17年

金子理一郎氏、堀江文男氏、堀江昭仁氏にご協力をいただきました。 文書館 ☎52-0571



住宅用火災警報器の定期点検をしましょう

住宅用火災警報器を設置しても、火災の時に作動しなかったら警報器としての役目を果たすことができません。火災はいつ起こるかわからないので定期的に点検をして、いざという時に備えましょう。

1 住宅用火災警報器の掃除をしましょう

住宅用火災警報器にホコリなどが付いたままだと、火災を感知しづらくなります。定期的によく絞った布でホコリを拭き取りましょう。少なくとも年に1回程度は、拭き取り作業をしましょう。

2 作動確認を行いましょう

住宅用火災警報器を掃除した時には、同時に作動も確認しましょう。本体のボタンを押すか、ひもを引いた時、音や音声が鳴れば異常はありません。

3 交換時期を確認しましょう

住宅用火災警報器の電池の寿命は、おおむね10年が目安です。電池寿命が近づくと、音声やランプ表示などで交換時期を知らせてくれます。ただし本体内部の電池を交換できるタイプと交換できないタイプがあります。電池交換ができないタイプは、住宅用火災警報器を本体ごと交換する必要があります。



<なんでもQ&A>

Q. 住宅用火災警報器とはどんなものですか？

A. 火災により発生する煙または熱を感知し、音や音声で警報を発して、火災の発生を知らせてくれる機器です。

Q. どこにつければ良いのですか？

A. 寝室と寝室がある階の階段の上部（1階は除く）に設置することが、消防法で義務付けられています。

「住宅用火災警報器」は、あなたや家族の大切な命を守ります。まだ設置されていない方は、早めに設置しましょう。

今月の耳より情報



今月号のテーマ「夏を乗り切るスタミナ料理」に、情報が寄せられました。

「なすの照り焼き」

夏にたくさん採れるなすを大量消費。簡単でご飯も進みます。ぜひ試してみてください。

・材料 なす適量、片栗粉、油、酒、みりん、砂糖、鷹の爪

・作り方

①なすに薄く片栗粉をつけて、多めの油で焼く

②酒とみりん同量で照り焼きにする

*子供向けならお砂糖を少し、大人向けなら鷹の爪を少し入れてください。 I さん

9月号の情報を大募集!!

9月号のテーマは、「市民のあの人を紹介します」です。あなたの周りの同僚、友人など趣味を楽しんでいる人を紹介してください。おたよりお待ちしております。

8月19日（金）までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課

☎52 - 1111（内線312）

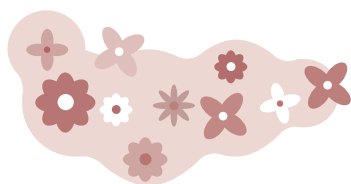
〒319 - 2292 常陸大宮市中富町3135-6

Eメールアドレス

→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードからの投稿はこちら→





環境インフォメーション



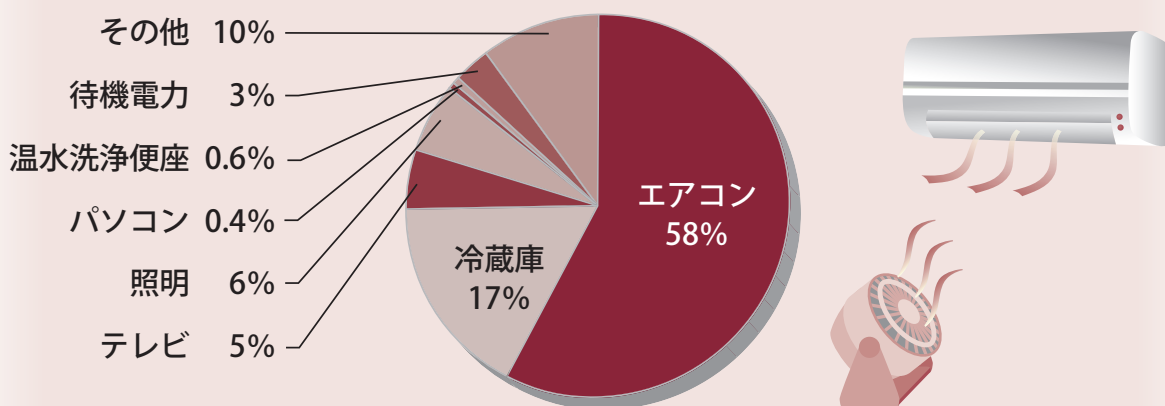
夏の節電対策



今年の夏も、引き続き節電の取り組みが求められています。

市民の皆さん一人ひとりの「エコライフ」の取り組みが、節電につながります。家族みんなでアイデアを出し合いながら、省エネ・節電を進めていきましょう。

夏の日中(14時頃)の電気機器の使用例 (在宅時平均)



～家庭でできる省エネ取り組みの例～

品 目	具体的な取り組み	年間省エネ効果
エアコン	冷房時室温28℃ に設定	約30kwh (約670円の節約)
	フィルターの定期清掃	約32kwh (約700円の節約)
冷蔵庫	むだに開閉しない	約10kwh (約230円の節約)
	設定温度を適正に管理	約62kwh (約1,360円の節約)
	ものを詰め込みすぎない	約44kwh (約960円の節約)
照 明	L E D電球に取り換える	約90kwh (約1,850円の節約)
	電球形蛍光灯に取り替える	約84kwh (約1,980円の節約)
テレビ	必要な時以外は消す	液晶型の場合…約17kwh (約370円の節約)
		プラズマ型の場合…約57kwh (約1,240円の節約)
	画面の明るさを下げる	液晶型の場合…約27kwh (約600円の節約)
		プラズマ型の場合…約152kwh (約3,340円の節約)

出典：資源エネルギー庁

■問い合わせ■ 環境課 環境推進グループ ☎52-1111 (内線123)

ひたまるがゆく

5月28日に坂東市岩井商店街内で行われた「ばんどうホコテン」に参加してきました。本市からは、ごぜんやま温泉保養センター四季彩館が出店し、市の特産品でもある「あゆの塩焼き」や「ゆずサイダー」などをたくさんの人に食べてもらいました。そして、久しぶりに会うゆるキャラたちに、ひたまるも大喜び！また、子どもたちにも引っ張りだこのひたまるでした。

今年もひたまるは「ゆるキャラ®グランプリ2016」にエントリー。

投票よろしくお願ひします！

投票期間：～10月24日（月）18時まで

ゆるキャラ®グランプリのHPはこちら→



▲坂東市の将門くんと



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.23

7月2日、ひたちなか市平磯地内で「ひたちなか親善大使と歩く平磯ノルディックウォーキング」を開催しました。

梅雨明け前でしたが晴天に恵まれ、市内から35人、共催のみなとwaiwaiクラブからも30人以上の参加があり、にぎわいのあるイベントになりました。



■問い合わせ■ スポーツクラブひたまる25事務局 ☎55-9666
生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111(内線342,343)

ハナイカダ



(ミズキ科ハナイカダ属)



御前山ビオトープ周辺の植物等

山地に生える高さ1～2mの落葉低木です。葉は長さ6～12cmの楕円形で、5～6月頃に葉の表面の主脈の上に淡緑色の花をつけます。雌雄異株であるため、雄株は葉の中央に雄花を数個つけ、雌株は1～3個つけます。葉がまだ小さいうちは葉の先端に蕾がついているように見えますが、成長と共に葉の中央に位置するようになります。果実は球形で8～10月頃に黒紫色に熟します。名前は葉の真ん中についた花を箆にみたてたものです。若葉はアクがなく食用にされることもあるようです。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(7月1日現在・推計常住者)

総人口 42,131人

(男 20,753人 女 21,378人)

世帯数 16,087世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 7月 第142号

発行日 平成28年7月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを使用しています。